



# Report-Christmas for Ukraine !

## 活動報告 — ウクライナにクリスマスを！

2022年3月11日、まだ1年にも満たないこの日、私は最初のウクライナ支援チームと共にチェコ共和国のプラハ空港に着陸しました。トラックに乗ってスロバキアを抜け、ウクライナの国境に着いたのは真夜中でした。私は、氷点下20度近い気温の中で、ウクライナから出国しようとする何千人もの人々を見ながら立っていました。

その検問所では、私たちだけが、どうやってウクライナへ入国するかを考えていました。そこに着いた時、何をするか明確には分かっていませんでしたが、誰かが何かをしなければならぬことは分かっていました。この言葉をすでにお聞きになっている方もいると思いますが、もう一度言います。“必要は召し”なのです。

またしても、多くの子どもたちが、自分たちが関わったわけではない状況に置かれています。以前にも申し上げましたが、もう一度申し上げます。子どもたちは、自分たちが作り出したのではない世界に生きているのです。今、私たちに何ができるかを考えなければなりません。すべてができるわけではありませんが、何かしなければならないことは確かです。

その夜、3人で国境を越えて歩き始めた時、私は特に計画を立ててはいませんでした。しかし、すでにやるべきことについて話し始めていましたし、祈っていましたが、もっとうまく伝える必要がありました。私のことをご存知の方は多いと思いますが、私たちが「やりたい」と思うときは、必ず実現することになるのです。



### 驚くべき人々が与えられ、チームワークの力によって



ウクライナ戦争が勃発してから15日後、私たちは活動を始めました。私は何かしようとする心ある人たちを探していました！多くの方々が、友人に電話をかけ、教会や牧師に相談し、経営者などとの繋がりをつけてくれた人もいました。若い牧師の中には、「できるだけ多くの子どもたちを助けたい」と、よい資金集めの方法を用いて支援くださった方々もいました。私は、この最初のグループを「シーカーズ(探索者)」と呼びました。潜在的な機会や開かれた扉を探し、喜んで支援してくれる人、何とかして支援したいという人を探し出す人たちです。そうすれば、物事が動き出すかもしれないのです。

次に、「サプライヤー(供給者)」が登場します。資材、食料、防弾チョッキ、バス会社、毛布などを調達してくれる人、食料、寝具、トラック、ガソリンなど、開戦当初は入手困難だった物資を提供してくれる供給者を見つけたのです。現地で食料や必要不可欠のものをたくさん調達できるサプライヤーが、オーストリアやスイス、ブダペスト(ハンガリー)から私たちと繋がり始めたのです。



そして、私が「サーバーズ(奉仕者)」と呼んでいる次のグループには圧倒されました。彼らは、「ビル牧師、そこでお会いしましょう。ウクライナから来ました。」「ポーランドから来ました。ウクライナに物資を運ぶトラックを運転するのを手伝いますよ。」彼らは本当に素晴らしい人たちでした！戦争が始まった時、私たちは、子どもたちや家族を国外に脱出させようとしていました。国営の孤児院に置き去りにされた子どもたちがいたので、5つの孤児院の子どもたちを国外に脱出させたのを覚えていらっしゃるかもしれません。それを実現させたのが、このサーバーズ(奉仕者)たちだったのです！

そして、次のグループは、「センドーズ(送り手)」です。彼らがいなければ、爆撃や砲撃の最中、適切な物資を適切なタイミングで適切な人たちに届けることはできませんでした。彼らは贈り物を積んだトラックや車を運転して届けたり、列車で国中を移動したり、何でもしてくれました。彼らはキリストの手となり、ウクライナの東部、西部、南部、北部のいたる所で、文字通り慈愛を運ぶ車輪となったのです。

しかし、戦争の最中に、最後のグループがまだ残っていたとは、誰が想像できたでしょうか？それは、「教会学校の先生たち」でした。子どもたちを救出し、食料や毛布を運び、残酷な拷問を受けた人々を国外に脱出させることは重要です。でも、ただパンを与えるだけではダメなのです。彼らに「命のパン」を伝える必要があるのです。





混乱の中で、子どもたちとその家族に王の王を伝え、イエス・キリストが誰であるか、そして主キリストが彼らを忘れて見捨てていないことを理解できるようにしたいと願う、神に用いられる人々を必要としていました…このグループは文字通り世界中から集まり、私は彼らと一緒に働く榮譽にあずかりました。素晴らしい時間でした。すでに持っている知識を活かせば、何をすべきかはわかるものです。彼らは自分たちに何ができるかを理解していて、イエスの御名を掲げるために喜んでそれを実行したのです。

この一年は、ウクライナでの国内ツアーを3回に分けて行なった、長い一年でした。3回目のツアーでは、ウクライナ軍に招かれ、ロシア兵に残酷に性器を切断・去勢された兵士たちのカウンセリングや、その妻や子どもたちと話をすることができました。第2回目には、バス2台分の母子救出支援をしました。母親たちは、若い娘たちがロシア兵に輪姦されるのを無理矢理見せられていたのです。子どもたちと親を国境を越えてポーランドまで連れて行っただけですが、ワルシャワの病院まで自分で連れて行く気満々だったのに…そうすべきでした…。その時のことは、決して頭から離れないし、これからも忘れたいと思います。

私がウクライナから離れなかった、と言う方々もいました。ウクライナが私から離れなかったからです。おそらく、彼らの言うことは正しいでしょう。

## 私たちはやり遂げました！

最初の検問所での体験から、ウクライナでの3回のツアーまでかいつまんでお話ししました。神様のおかげで、メトロは、「ウクライナにクリスマスを」という活動を遂行できました。ありがとうございました。あまりに大胆な計画だと言われましたが、チームワークの力によって実現できたのです！皆様のご支援で、全ての必要も満たされました。

11月25日から12月25日まで、アルファチームは、ウクライナ南部で子どもたちや保護者の方々と直接関わりました。ブラボーチームは、ウクライナ東部のロシアとの国境付近にあるイジュームの教会、子どもたち、軍隊、兵士たちのために活動しました。チャーリーチームは、ウクライナ西側を中心に活動しました。そして、彼らの現地での活動により…21,017セットの食料を各家族に配付し、33,414個のクリスマスプレゼントを子どもたちに渡し、572着以上の防弾チョッキをウクライナの東部で配り、片足や両足を失った兵士たちに11個の義足を渡しました。いろいろな意味で忘れられないクリスマスになりました。

あなたが、私たちと共に、あの国境を初めて越えた日からクリスマスの日にいるまで全ての地域で全ての働きを共に担ってくださったということ、知っておいていただきたいのです。私は誇りを持って言います。この活動に関わった全ての人々が、主イエス・キリストの手として働いたのです。私が常々言っていることをお聞きになっていると思いますが、あえて言わせてください。私たちは世界中のみなさんを代表しているのであり、あなたの宣教師なのです！

ご覧の通り、プレゼントをもらう子どもたち、防弾チョッキを着て武装したバンで爆撃され、破壊された地に向かう私たちのチーム、避難地区のテントで人々のために食事を作る人々、…必要だと思われたことは何でもし、できることは何でもして…それでも今も働きはまだ続いています。あなたがこれを読んでいる間も続いているのです。簡単なことではありません。戦争とは決して簡単なものではないのです。



地下鉄の駅で見捨てられた子どもたちに、夫が不具となってしまった妻に、決して以前と同じ自分には戻れない兵士に、破壊されたビルの地下で眠る年配の未亡人に…あらゆる機会をとらえて、私たちは「福音を宣べ伝えた」のです。私たちがそれを行なうのは、すべてイエスの御名においてであることはご存知の通りです。主イエス・キリストが十字架で成し遂げてくださったことのためです。すべての働きにおいて、私たちは、人々にキリストを自分の救い主として受け入れる機会を与え続けたのです。人生が変わるのは、「十字架」によってだけです。

THANK YOU FOR GIVING TO THE LORD (主にささげてくれて感謝) という昔の讃美歌のように、私自身が小さな、誰からも望まれない少年だった時、私が必要としている時にある人が来てくれ与えてくれたことで人生が変わりました。皆さん方の多くが、この子どもたちがイエス様を伝えてくれる人を必要としている時に、来てくれたのです。それは私たちが、イエスの御名によって「共に行なった」のです。だから、あなたにとっても感謝しています。あなたのご想像以上に…。

新しい年、さらにイエス様の御名によって前進しましょう！

ビル・ウィルソン

